



2026年8月28日の電力需給

全国

△ 全国合計需要ピーク

14,054万kW

14時30分、140,538 MW
(10エリア同時刻合計)

☀ 太陽光ピーク

3,720万kW

11時30分、37,196 MW
(自家消費分除く)

≈ 風力ピーク

232万kW

12時30分、2,319 MW

◇ 再エネ最大需要比

36.7%

11時、需要に対する割合

↔ 最大受電エリア

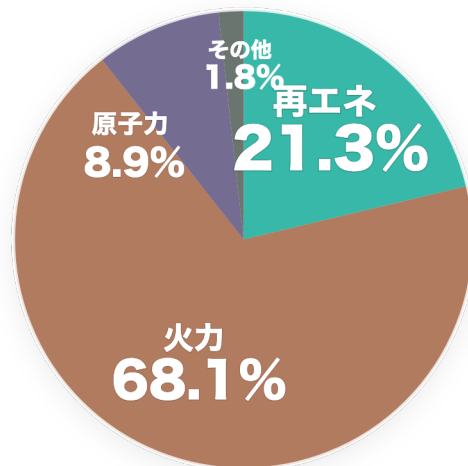
東京

134 GWh

↔ 最大送電エリア

東北

118 GWh



概況

再エネ比率トップ

北海道 52.6%

44.4 GWh

出力抑制量

0.2 GWh

最大: 東北 0.2 GWh

揚水・蓄電の充電

76.0 GWh

発電構成比には含めない

日中の特徴

太陽光と夕方需要の時間差

多くのエリアで18-19時台に需要ピーク



- 需要ピークが最も大きかったのは東京で、11:30に4,690万kWでした。
- 再エネ比率は北海道が最も高く、発電電力量ベースで52.6%でした。
- 出力抑制は東北。

項目	値	補足
再エネ発電 量比率	21.3%	発電電力量ベース
再エネ発電 量	591 GWh	太陽光・水力・風力・バイオマス・地熱
総発電電力 量	2,781 GWh	発電構成比の分母
再エネ最大 需要比	36.7%	11時
出力抑制量	0.2 GWh	最大: 東北
揚水・蓄電 の充電	76.0 GWh	発電構成比には含めない

エリア	再エネ比率	再エネ発電量 (GWh)	出力抑制 (GWh)	連系線・ その他 (GWh)
北海道	52.6%	44.4	0.0	送電 7.2
東北	34.6%	118	0.2	送電 118
東京	16.8%	131	0.0	受電 134
中部	21.6%	82.7	0.0	受電 37.3
北陸	29.6%	25.0	0.0	送電 6.4
関西	11.6%	48.4	0.0	受電 49.4
中国	15.2%	30.6	0.0	送電 9.3
四国	21.1%	23.6	0.0	送電 24.8
九州	24.2%	85.0	0.0	送電 34.5
沖縄	10.8%	3.2	0.0	—



2026年8月28日の供給実績

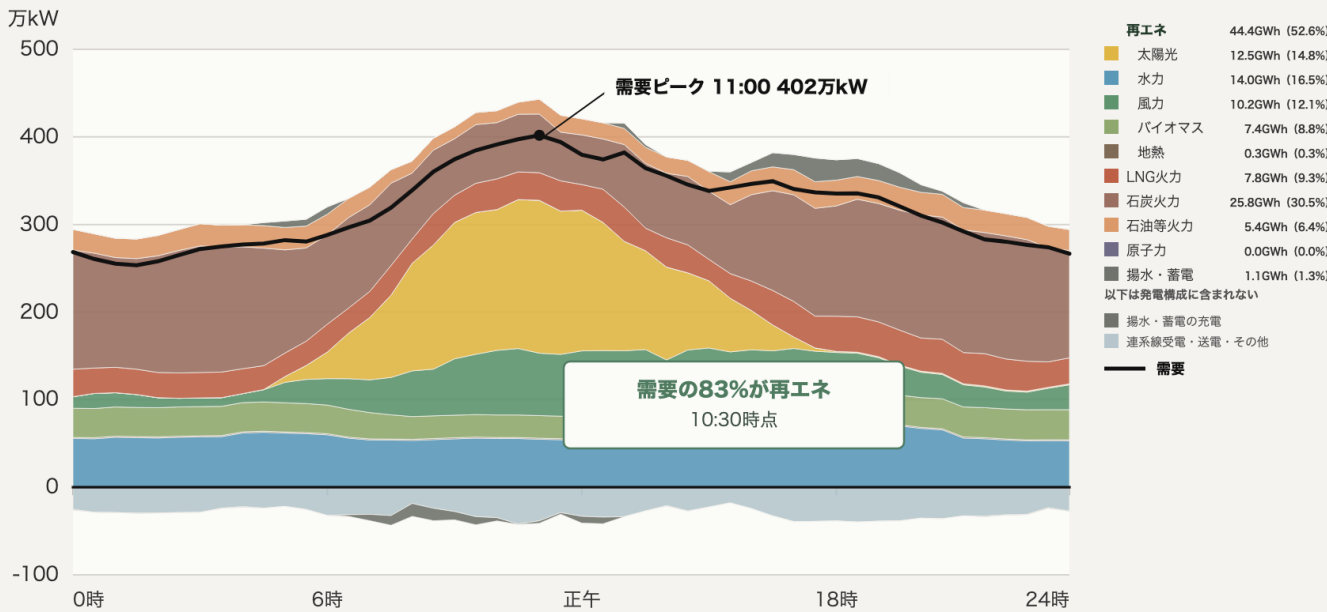
北海道エリア

再エネ

44.4GWh

(発電電力量ベース52.6%)

北海道エリア 2026年8月28日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北海道電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ (2026年8月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

84.5GWh

需要ピーク

11:00、402万kW

連系線・その他

7.2GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.5GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

北海道は、太陽光ピーク174万kW、風力ピーク77万kWで、時間別の再エネ最大需要比は83.4%だった。



2026年8月28日の供給実績

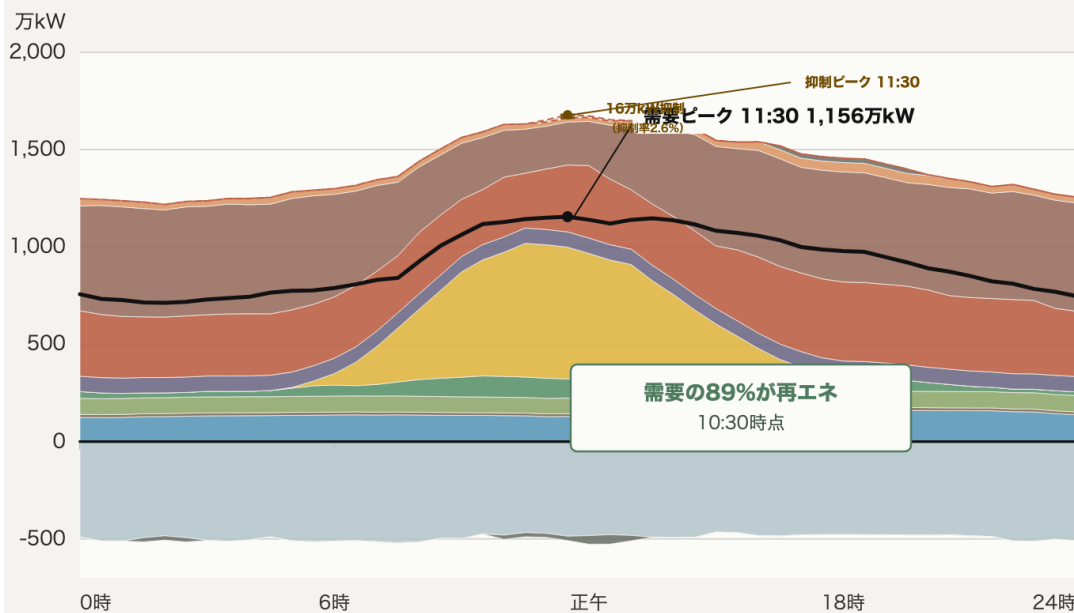
東北エリア

再エネ

118.0GWh

(発電電力量ベース34.6%)

東北エリア 2026年8月28日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 341GWh
(3,407万kWh)

再エネ	118.0GWh (34.6%)
太陽光	45.5GWh (13.3%)
水力	34.1GWh (10.0%)
風力	15.3GWh (4.5%)
バイオマス	19.7GWh (5.8%)
地熱	3.5GWh (1.0%)
LNG火力	81.7GWh (24.0%)
石炭火力	113.3GWh (33.2%)
石油等火力	8.0GWh (2.3%)
原子力	18.9GWh (5.6%)
揚水・蓄電	0.8GWh (0.2%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	
需要	

出力抑制量 0.2GWh
火力 0.2GWh
本来発電可能量の0.1%
抑制率=出力抑制量/(発電量+出力抑制量)
出力抑制量: 出力抑制により発電しなかった量

出典: 東北電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ (2026年8月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

340.7GWh

需要ピーク

11:30、1,156万kW

連系線・その他

118.1GWhの送電

揚水・蓄電の充電

1.4GWh

出力抑制

0.2GWh

概況

東北は、太陽光ピーク687万kW、風力ピーク112万kWで、時間別の再エネ最大需要比は89.1%だった。



2026年8月28日の供給実績

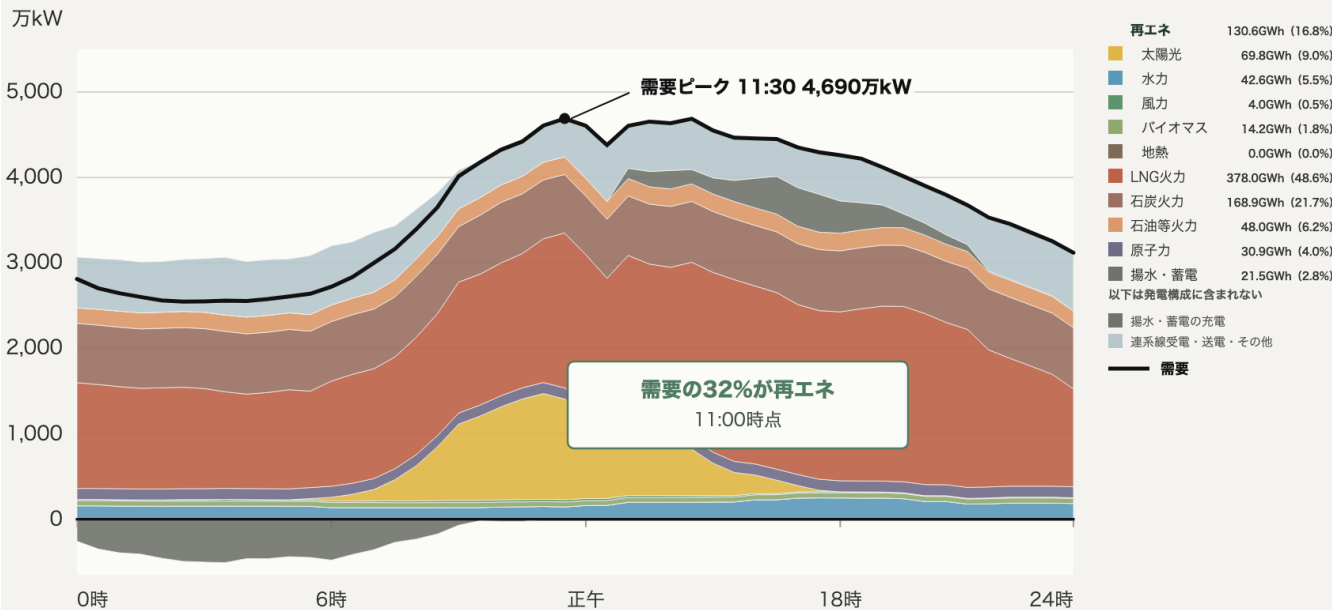
東京エリア

再エネ

130.6GWh

(発電電力量ベース16.8%)

東京エリア 2026年8月28日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東京電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ (2026年8月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

777.9GWh

需要ピーク

11:30、4,690万kW

連系線・その他

134.3GWhの受電

揚水・蓄電の充電

36.1GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

東京は、太陽光ピーク1,237万kW、風力ピーク28万kWで、時間別の再エネ最大需要比は31.9%だった。



2026年8月28日の供給実績

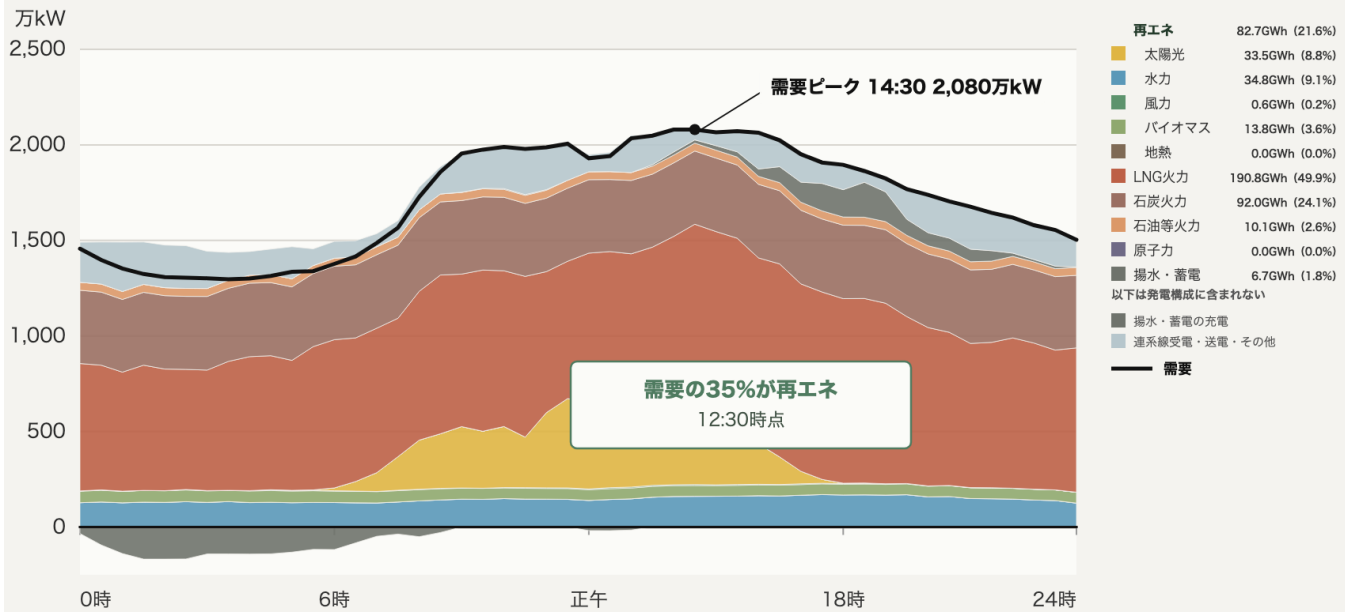
中部エリア

再エネ

82.7GWh

(発電電力量ベース21.6%)

中部エリア 2026年8月28日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中部電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

382.3GWh

需要ピーク

14:30、2,080万kW

連系線・その他

37.3GWhの受電

揚水・蓄電の充電

10.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

中部は、太陽光ピーク477万kW、風力ピーク5万kWで、時間別の再エネ最大需要比は35.2%だった。



2026年8月28日の供給実績

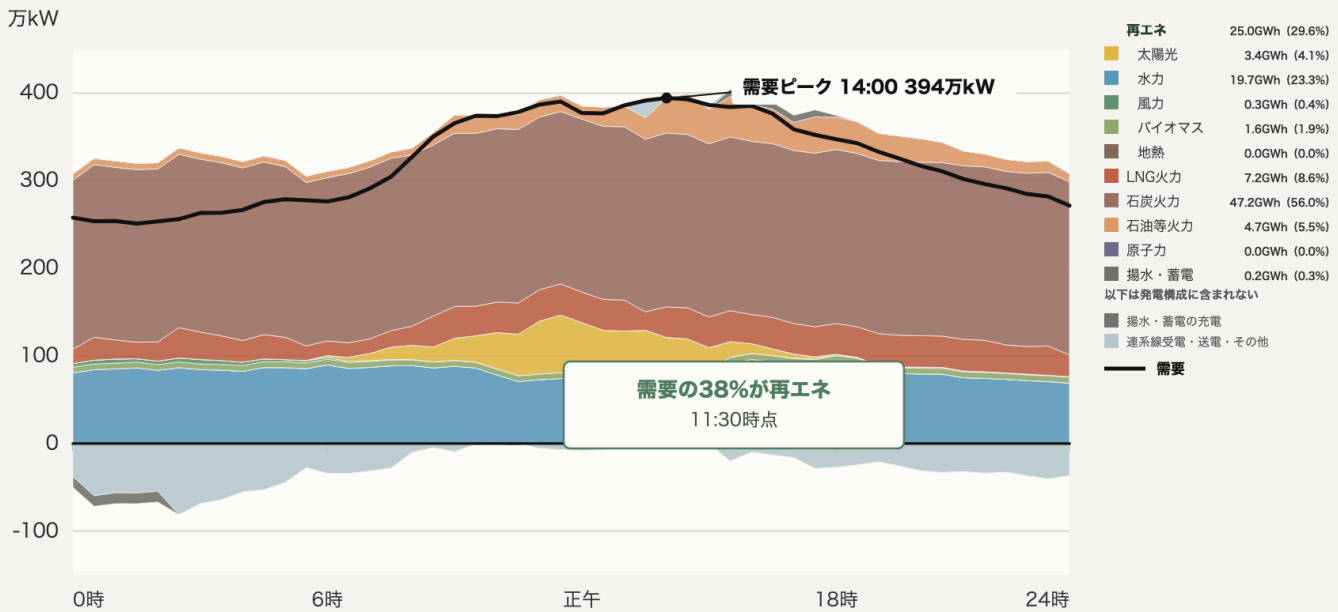
北陸エリア

再エネ

25.0GWh

(発電電力量ベース29.6%)

北陸エリア 2026年8月28日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北陸電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

84.3GWh

需要ピーク

14:00、394万kW

連系線・その他

6.6GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.3GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

北陸は、太陽光ピーク66万kW、風力ピーク5万kWで、時間別の再エネ最大需要比は38.6%だった。



2026年8月28日の供給実績

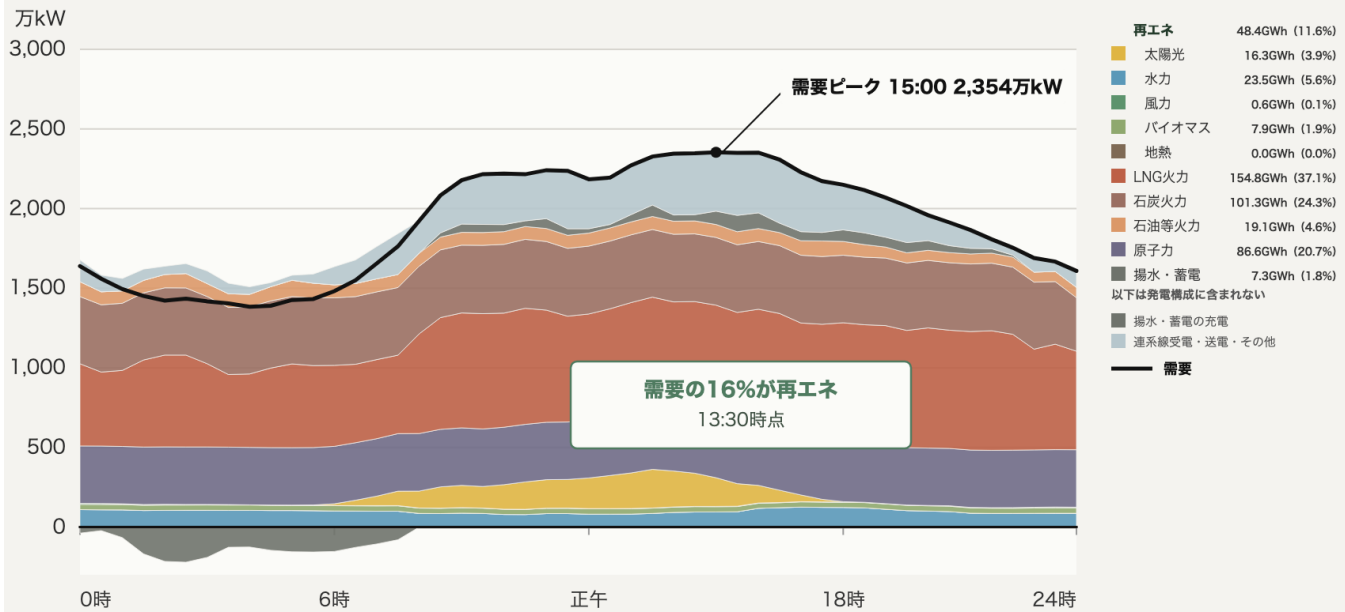
関西エリア

再エネ

48.4GWh

(発電電力量ベース11.6%)

関西エリア 2026年8月28日の供給実績（残余需要方式）



出典: 関西電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

417.5GWh

需要ピーク

15:00、2,354万kW

連系線・その他

49.4GWhの受電

揚水・蓄電の充電

10.5GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

関西は、太陽光ピーク243万kW、風力ピーク6万kWで、時間別の再エネ最大需要比は15.6%だった。



2026年8月28日の供給実績

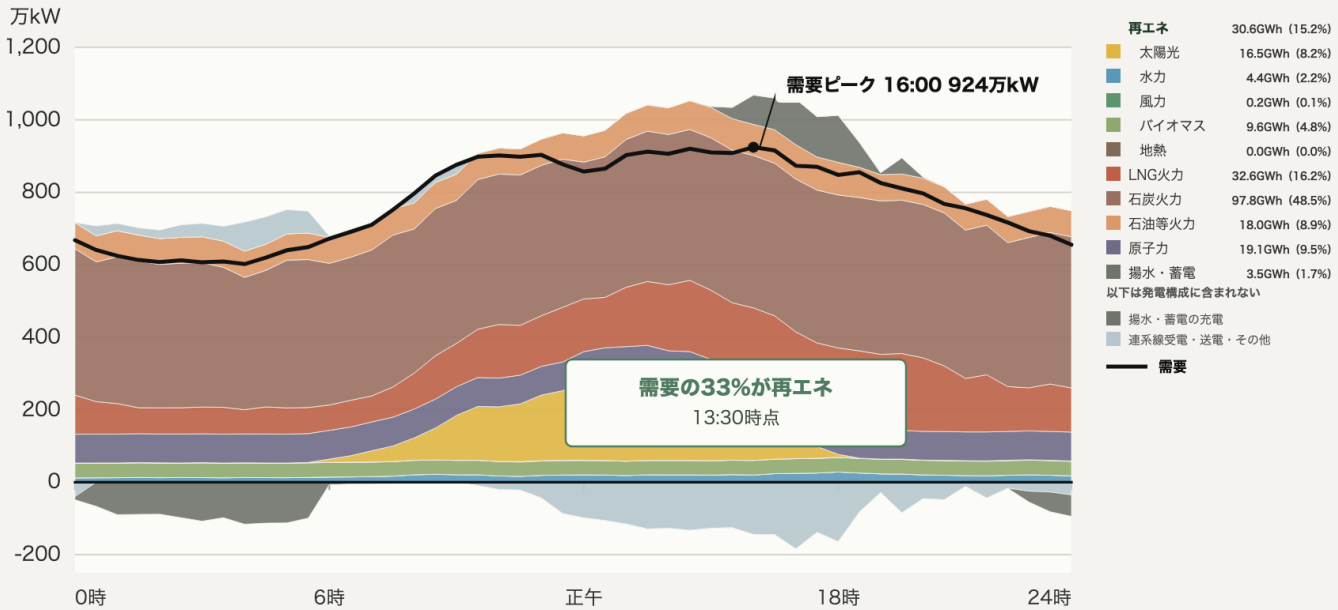
中国エリア

再エネ

30.6GWh

(発電電力量ベース15.2%)

中国エリア 2026年8月28日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中国電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

201.6GWh

需要ピーク

16:00、924万kW

連系線・その他

12.1GWhの送電

揚水・蓄電の充電

6.2GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

中国は、太陽光ピーク238万kW、風力ピーク1万kWで、時間別の再エネ最大需要比は33.7%だった。



2026年8月28日の供給実績

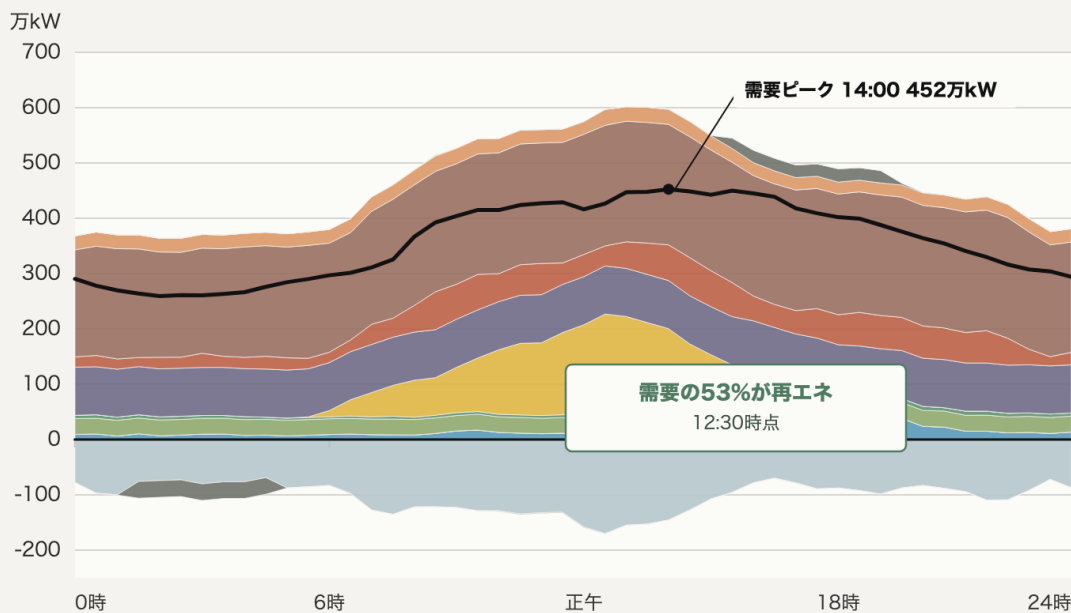
四国エリア

再エネ

23.6GWh

(発電電力量ベース21.1%)

四国エリア 2026年8月28日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 112GWh
(1,119万kW)

再エネ	23.6GWh (21.1%)
太陽光	11.0GWh (9.8%)
水力	4.5GWh (4.0%)
風力	1.4GWh (1.2%)
バイオマス	6.8GWh (6.1%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	10.0GWh (9.0%)
石炭火力	50.5GWh (45.1%)
石油等火力	5.9GWh (5.3%)
原子力	20.9GWh (18.7%)
揚水・蓄電	1.0GWh (0.9%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	
需要	

出典: 四国電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

111.9GWh

需要ピーク

14:00、452万kW

連系線・その他

24.8GWhの送電

揚水・蓄電の充電

1.1GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

四国は、太陽光ピーク183万kW、風力ピーク8万kWで、時間別の再エネ最大需要比は53.2%だった。



2026年8月28日の供給実績

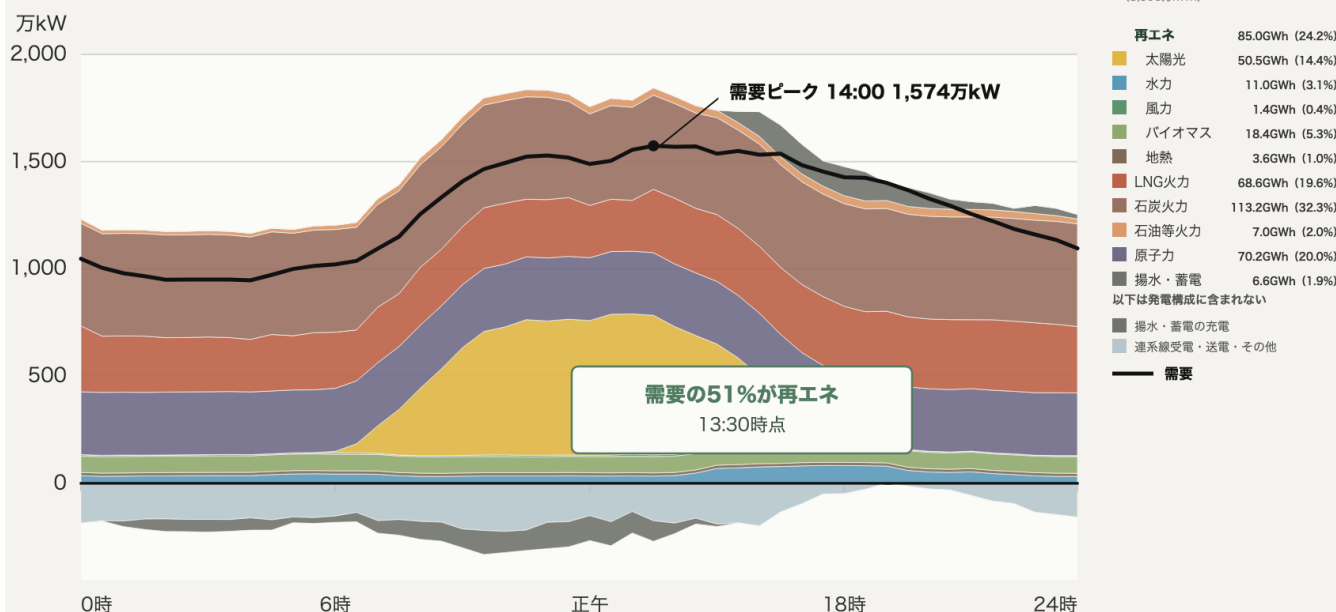
九州エリア

再エネ

85.0GWh

(発電電力量ベース24.2%)

九州エリア 2026年8月28日の供給実績（残余需要方式）



出典: 九州電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

350.6GWh

需要ピーク

14:00、1,574万kW

連系線・その他

34.5GWhの送電

揚水・蓄電の充電

9.9GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

九州は、太陽光ピーク656万kW、風力ピーク10万kWで、時間別の再エネ最大需要比は52.4%だった。



2026年8月28日の供給実績

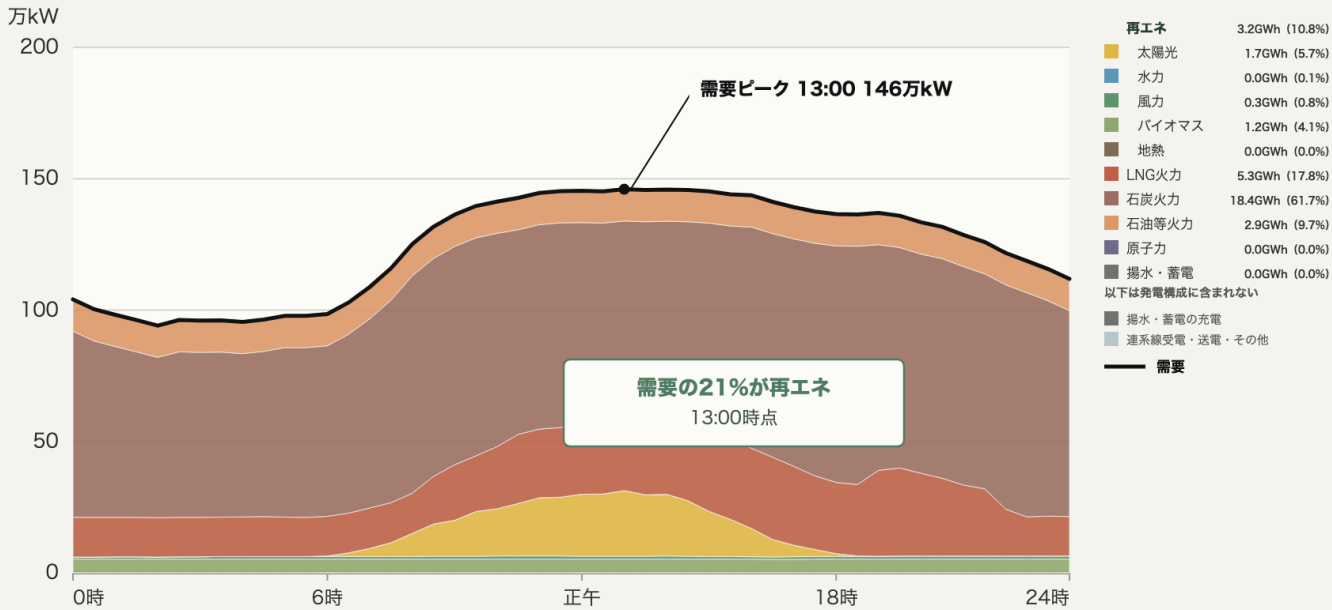
沖縄エリア

再エネ

3.2GWh

(発電電力量ベース10.8%)

沖縄エリア 2026年8月28日の供給実績（残余需要方式）



出典: 沖縄電力公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

29.8GWh

需要ピーク

13:00、146万kW

連系線・その他

0.0GWh

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

沖縄は、太陽光ピーク25万kW、風力ピーク1万kWで、時間別の再エネ最大需要比は21.4%だった。